

蠟梅 Now

超大型台風 21 号が迫る中での第 48 回衆院選で、有権者が選択したのは安倍政権の継続だった。東京で旋風を巻き起こした小池台風は、混乱の引き金を引いて熱帯低気圧に衰亡。「安倍 1 強」体制からの脱却を訴えた野党は自滅、蓋を開けてみるとこれまでとさほど変わらない与野党の議席配分で幕を閉じた。ツボに嵌った、大義のない、急襲解散の成果か？

選挙戦後は、安倍 1 強体制下で批判された「驕りや緩み」を封印するかのように、「選挙結果を謙虚に受け止め、真摯に対応していく」との発言が前面に出る。

2012 年からの第 2 次安倍内閣で掲げたアベノミクス。景気回復と脱デフレという面では相当の成果を上げたとの評価もあるが・・・。

政策の最大目標を経済回復と位置づけ、デフレ脱却を達成する為の当初の 3 本の矢は、①大胆な金融緩和、②機動的な財政政策、③民間投資を促す成長戦略、であった。限定的で定性的な景気回復を喧伝するも、物価上昇率 2% の未達、消費増税の迷走等、課題は山積。

改憲論議や北朝鮮の脅威への対応、中・韓・ロとの近隣外交等も後に控える。新政権に課された役割と期待は大きい。

21 年 10 月迄の衆院議員の任期から、来る 18 年 9 月の総裁選で 3 選を果たせば、12 年末から 9 年に及ぶ長期政権の道筋が透けて見える。この間に「平成」が幕を閉じる歴史の転換点を迎えるのは象徴的だ。成長を続ける未来に向けた首相の舵取りは責任が重い。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」二世は、11 年 11 月の 実生による誕生から間もなく 7 年目に入る。今春に懸案だった大き目の鉢への植え替え以降、特に気になる変化は見られない。

例年になく長かったかのような夏を事もなく乗り越え、残暑にもめげず、来る寒さに向かっていこうとする中、ある兆候が。

これまで気づかなかったのだろうか、若葉のころでもないのに何枚かの若葉が出てきた。越冬に向けた体力増強策なのか？

年末から年始に向けての花の少ない時期、貴重な開花を楽しみにしている。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>